

上田中央地域協議会会議録

日 時 平成 18年 12月 18日 (月) 午前 10時から午後 0時 05分
場 所 上田市中央公民館 2階第 1会議室

出席委員 金子委員、河野委員、北川委員、栗俣委員、小林委員、白石委員、田口委員、竹内委員、那須野委員、箱山委員、畠中委員、林委員、前澤委員、三吉委員、山内委員、山極委員
市側出席者 原沢自治振興課長、小宮山自治振興課課長補佐、柳沢主査
山田政策企画課主任

1 開会 (原沢自治振興課長)

2 会長あいさつ (林会長)

本日は市から総合計画の諮問が予定されている。第 3 回目の地域協議会ということで、本格的な論議が始まろうとしている。中央地域は地域的に広く、人口も多く、いろいろな地域差がある。中央地域のまちづくりに活発なご議論をお願いしたい。

3 会議事項

(1) 諮問

第一次上田市総合計画「地域まちづくり方針」について

(林会長)

それでは、会議事項に入ります。第一次上田市総合計画「地域まちづくり方針」について、事務局から説明をお願いします。

(原沢自治振興課長)

小林上田地域自治センター長から林会長へ第一次上田市総合計画「地域まちづくり方針」について諮問をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

〔小林センター長から林会長へ諮問書が提出される〕

(原沢自治振興課長)

諮問の内容につきまして、担当課から説明をさせていただきます。

「1 第一次上田市総合計画地域まちづくり方針の策定について」

「2 総合計画の策定方針について」

政策企画課 山田主任から説明

(林会長)

事務局の説明について質問等あれば出していただきたい。

1月中に2回の協議会を開催するとのことであるが、意見の取りまとめをしながら進めていくために、事務局で意見の速記録は作ってもらえるのか。

(原沢自治振興課長)

地域まちづくり方針のたたき台のシートをもとに、本日含め3回程度開催することになるが、協議会の中でご検討いただいた意見をもとにシートを修正しながら、次回の会議までにお送りし検討いただいたうえで、会議は議論から入れるよう進めていきたい。

(林会長)

意見提出シートはいつ出すのか。

(原沢自治振興課長)

本日ご意見をいただくとともに、シートも提出していただく。それをもとにたたき台を修正して、次回の会議までに委員の皆様方にお送りしたい。

(委員)

1月に会議は何回開催するのか。

(原沢自治振興課長)

1月中に2回開催を予定している。本日いただいたご意見をもとにこの素案を修正し、2回目の会議までに送り、当日皆さんに再度ご意見をいただきたいと考えている。

(委員)

地域協議会が答申したものはどのようにまとめられ、処理がなされるのか。

(原沢自治振興課長)

それぞれの協議会からいただいた答申を総合計画審議会に提出する。それをふまえて審議会で地域まちづくり方針も含めて議論していただき、最終的には審議会から、まちづくり方針も含めたものを市長に答申する。

(委員)

意見シートにある大項目3つは具体的に取り上げるという前提で考えればいいのか。

(原沢自治振興課長)

意見を出していただくための、あくまでもたたき台である。特にこれにこだわっていただく必要はない。

(委員)

非常に広範囲かつ幅のある答申をするべきなのか、それともある程度絞り込んで

検討すべきなのかよくわからない。下段の 2つの空欄に中央地域協議会として意見集約したものを載せるべきなのか。

個人的には新市建設計画を前提に、ある程度中央地域では何をすべきかについて意見集約してからでないと、ばらばらな意見が出て収集がつかなくなるのではないかと。

(原沢自治振興課長)

新市建設計画をベースに事務局で 3項目のたたき台を示させていただいた。こだわる必要はないが、これに対する意見をいただく。下段の空欄については、新たな項目についてご意見があれば出していただく。

本日いただいた意見をまとめたものを事務局で作成し、次回の会議までに素案として送らせていただきたい。

(小林上田地域自治センター長)

新市建設計画の地域別整備方針の中で旧上田市は全体で一つとして位置づけられていたため、それぞれの地域ごとにまとめられたものは何もなかった。

旧市内 6地域について、これを最初からまとめるのは大変な作業ということで、事務局で 6つの協議会ごとに妥当と思われる内容をたたき台として示させていただいている。そのため、まずはたたき台をもとに議論していただき、その後このほかのご意見を出していただき、それを事務局で持ち帰り、次回までには提示させていただき、それをもとに第 2回目でご議論いただきたい。

(委員)

今の説明を先にいただきたかった。本日シートをまとめてくるのが大変だった。

(委員)

シートが急に送付され、どのように記載するのが困った。このようなことで議論してから、シートを記入するというように、進める順序が逆ではないか。

(小林上田地域自治センター長)

わかりづらい点があったことについてはお詫びしたい。

(委員)

たたき台の 3項目は観点として良いと思う。

(委員)

シートについては、どこから記載していいか大変悩んだ。漠然としており、広範囲に渡っている。新市建設計画でかなり議論された内容をさらに検討するというのは大変なことである。

(林会長)

私自身提出シートについては、事務局の説明と委員の皆様の意見をある程度聞いてから、記載したいとも思っていた。

今後の進め方として、事務局の考えはどうか。

(原沢自治振興課長)

お出しいただいた意見をもとに、本体の総合計画との調整を図りたい。必要であれば、シートはもう一度ご記入いただきたい。本日のご意見をもとに素案を作成した段階で皆様にお送りするので、それに対する意見はまた今日の会議をふまえての意見などを記載いただき、もう一度出していただくような形にしたい。

(林会長)

いずれにしても2月5日という期限がある。個人的な考えであるが、1月中旬に2回の会議を開催することをふまえれば、遅くとも年内くらいには意見を提出しなければいけない。

シートに掲げられている ~ は中央地域に関する大きなものと感じるが、説明が不足していたところに各委員にご記入いただいたということで、思いの統一がなされていない感じがする。一応本日書いてきたシートはご提出いただいて、新たに提出するということについてどうか。

(委員)

各自の意見がそのまま出るのではなく、まとめたものが出るのであれば、個人の意見は早く提出して、それを協議する場合は2回程度ほしい。

(委員)

例えば都市機能を高めるとは具体的にはどういうことか。総合的なまちづくりもすべてが含まれる気がする。行政が書くところのような表現になると思うが、もう少し各論的な内容が必要だと思う。

具体的な記述については我々が書くにしても、具体的なデータを知った上でのほうがいい。

(小林上田地域自治センター長)

本日配布させていただいた旧上田市の第三次後期基本計画は、総論的なまとめになっており、個々の具体的な事業については記載されていない内容になっている。

今回新たに策定する総合計画の中で、地域のまちづくり方針については、地域に限定した具体的なものについてまとめていくのがいいのか、市の内部でも詰まっていない。この点についても各協議会で議論していただき、仮に地域のまちづくり方針よりも具体的なものも含めて作るべきという内容で市長に答申がなされれば、総合計画審議会でもそれを尊重して決定してもらう方向になると思う。

今回は事務局の考えで進めることは考えていない。ご意見を踏まえた中で判断していくつもりなので、先程の意見のように具体的なものも含めて、この場でご議論いただきたい。

(林会長)

シートの ~ までは、中央地域の特性を踏まえたものとしてある程度理解できる。むしろ地域協議会としては、こういうものをこうしていきたいという空欄部分

の意見を出していただき議論していただいたほうがいいと思うがどうか。

(委員)

新市建設計画は、それぞれの段階で相当練って策定されたものである。参考として出されたものは、この中でも特に集約されたものが列記されていると思う。これはあくまでもマクロ的な見方であって、ミクロ的なものは記載されていない。旧上田市域に書いてあるものはおそらくどれも外せないものとしてここに記載されていると思う。個人的にはこれに基づいて、どれだけ肉付けをするかというのが地域に課された課題だと認識している。

(委員)

スケジュールが決まっている。それぞれ団体の代表として参加しているので、その考えを元に意見を述べるということなので、先程の委員の意見のように市から練りに練った方針が出されているので、これに基づきまとめる方向で議論していくべきである。個々の意見で議論していてもまとまらないと思う。したがって、ただいまの意見に賛成である。

(林会長)

ただいまの2名のご意見に対してどうか。

中央地域としては、2月5日までに意見をまとめて提言しないといけないということになると、たたき台の3点に対して皆さんの意見を伺いながら、そのほかに地域として必要なものがこの空欄になっているところでご記入いただくということかどうか。

(委員)

一度は地域を振り返り、自分の目で見た意見を出すことも必要だと思う。

(委員)

非常に幅広い内容を20人の委員でまとめるのは大変な作業である。しかもいろいろな協議会などを経て出てきた項目が表の3項目と裏の5項目だと思う。

その場合項目だけ残して、市はこのような項目を組み入れたいと考えているということをお我々が理解した上で、個人的な意見をそれぞれ出していただき、まとめてもらう方向で、次はそれに基づいて議論する方向でないと2月にまとめるのは無理である。

(原沢自治振興課長)

3項目以外に新たな項目を考えている委員さんがおられれば、その後意見を伝えていただいた中で、例えば5項目、7項目ということをお示しさせていただく形で進めたい。

(委員)

3項目をまとめるだけでも大変である。この項目も具体性がないので肉付けもできない。いくら審議しても結論は出ないと思う。

〔休憩（5分間）〕

（林会長）

中央地域にはすべてが関わってくる。市で出していただいた3項目、裏面5項目もすべて中央地域に関わってくる。スケジュール的にも厳しい中でどのようにまとめていくのか懸念される。

（小林副会長）

どれもはずすことのできない重要な項目である。1ページ目の3つの項目について、それぞれ地域の中での諸問題や希望などを箇条書きなどで出していただければ行政でまとめられるのではないか。同様に裏面5項目についても同様に各委員に書いていただき、出していただいているかどうか。あとは行政が取捨選択する中でまとめられるのではないか。20人がそれぞれ発言してはまとまらない。

各委員がそれぞれの意見を年内には提出していただき、年明けにはフィードバックしたものを論議する方向でどうか。

本日参加している委員の中から「中央地区協議会へのご提案」というご意見もいただいているわけですが、これを議論していたら今日一日かかっても終わらないので、参考資料としてお配りしたいのでご了解いただきたい。

（林会長）

事務局で意見を記入するシートを早急につくり送ってほしい。各委員のご意見は28日必着で事務局に提出してほしい。

（委員）

地域まちづくり方針と中心市街地活性化計画の関係はどのようになっているのか。

（小林上田地域自治センター長）

この総合計画が市の中では最上位である。しかし合併がなければ、総合計画がすでに出来上がっていて、それぞれの個別の計画があとから出来上がってくるという順番になる。ただ、やむを得ず新市発足後すべての計画を平行して策定している状況である。ただし、基本的には総合計画が最上位計画なので、情報交換をしながら整合性をとって作成をしていく努力はしていく。

（委員）

答申の時期が大きく違っていると思う。

（小林上田地域自治センター長）

この総合計画は19年度の9月議会で審議いただき最終的に決定する。個々の計画等のスケジュールを把握しているわけではないが、それに合わせて進めていく。

（小林副会長）

参加委員の中から提出されました「中央地区協議会への提案」については、内容的に重要な問題であることは事実であるが、これらをご判読いただきながら計画の中に、あるいはご自身の意見としてその通りだとお書きいただける方もいるし、それは関係ないと思われる方もいるかもしれないが、そのような形で今日は見ていただきまして、審議事項にはしないこととしたいがよろしいか。

(委員)

私の提案については、諮問に対する地域まちづくり方針の具体的な審議に入る前の段階で、その他の中の緊急動議として副会長に提出させていただいたところである。

地域まちづくり方針の中の提案事項の一つとして、JT跡地問題について検討することは意義のあることと考えている。

中心市街地活性化基本計画の中でJT跡地問題について、跡地利用の研究会、基本計画の審議会等々いくつもの会議がある中で、少なくとも審議会の答申を待たずして1月に市長が利用方針を出すのはおかしいのではないかということをお願いしたい。

(林会長)

中央協議会の参考としてみていただいて、ご意見があれば28日までに提出をお願いしたい。

集約したものをたたき台に次回の会議で検討を進めたい。

(委員)

総合計画の諮問は、このほかにも出されるのか、これだけなのか。

(原沢自治振興課長)

地域協議会に出されるのはまちづくりの方針だけである。

(委員)

市としてどのようなまちづくりをしたいのか指針のようなものがあるとわかりやすい。そのようなものを出してもらえないのか。

(原沢自治振興課長)

まちづくりの方向性は新市建設計画で示されている。

(委員)

漠然としていて、どのようなことをしたいのかははっきり見えないので、具体的なものが記載できず困っている。

(原沢自治振興課長)

いろんな分野の方向性としては新市建設計画があたる。まちづくり方針の中にもっと具体的なものを入れたほうが良いというようなご意見は提出いただきたい。

(小林上田地域自治センター長)

具体的な事業等については実施計画に位置づけ、議会へも諮り最終的に決定していく。したがって、具体的な計画を議会の議決を経る前や地域住民の合意を得る前などに、総合計画の中に織り込んでいくのは困難ということをご理解いただきたい。

ただし、市民意向はアンケート結果等から傾向として掴んでいただけたらと思う。このようなものから上田中央地域について必要と考える具体的なものがあれば出していただいて、それを事務局でまとめて議会に示したい。

(委員)

盛り込んでいけなくても、検討の中では具体的な内容があってもいいのではないか。

(委員)

前回質問した「女と男いきいき」の説明をお願いしたい。

(原沢自治振興課長)

次回の協議会で説明させていただきたい。

(林会長)

委員の中には12月で交代する自治会長もいらっしゃると思うが、地域協議会委員には大事な仕事があるので、できれば任期を全うしていただきたい。

(委員)

私も組織の代表として出席しているが、組織の任期が終わる。その場合のこの会議の任期を全うしてほしいということか。

(委員)

そのことについて過去にも質問したが、うやむやになった。

(林会長)

個人的な希望としては2月5日の答申まではこのメンバーで進めたい。

(委員)

会から選ぶのは難しいという事情もある。

(委員)

お立場は団体だけでなく、個人の事情もあるので、あまりそのようなことにこだわらず、基本的には19年3月までは全うするという方向でどうか。

(2) その他

- ・〔仮称〕上田市地域協議会連絡会議の設置について
事務局（小宮山自治振興課課長補佐）から説明
各地域協議会の正副会長で構成（9協議会、18名）

- ・次回の開催について
1月中旬開催予定